

たかあき
かつまた 孝明 です！



昭和51年4月7日生まれ（40歳）
出身 沼津市
住所 沼津市花園町
家族 父親（沼津市出身）
母親（伊豆市出身：修善寺）
妻・長男・長女・次男

経 歴

〔学歴〕

しょうえい幼稚園
沼津市立門池小・門池中 卒業
静岡県立沼津東高校 卒業
学習院大学経済学部 卒業
慶應義塾大学大学院経営管理研究科 卒業
（経営学修士：MBA取得）

〔職歴〕

平成12年4月 スルガ銀行株式会社入社
財団法人企業経営研究所 研究員
（地域経済産業分析）
経営企画部 人事担当マネージャー
平成22年12月 スルガ銀行株式会社退職
平成23年1月～ 自民党衆議院静岡県第6選挙区支部 支部長
平成24年12月～ 衆議院議員（現在二期目）
・経済産業委員・財務金融委員・地方創生特別委員
・自民党青年局次長・自民党国際局次長

— お知らせ —



<http://www.facebook.com>

facebook はじめました！！友達大募集！

いま、自民党が熱い！自民党員を大募集中！！

自民党に入党して、党員として自民党そしてかつまた孝明を支えてください！

入党資格

- ・ わが党の綱領、主義、政策等に賛同される方
- ・ 満18歳以上で日本国籍を有する方
- ・ 他の政党の党籍を持たない方

党 費：一般党員 年額4,000円、家族党員 年額2,000円

申し込み方法

- ・ 自民党衆議院静岡県第6選挙区支部までご連絡ください。電話、eメール、直接お越し
いただいても結構です。



通信

— 第 4 3 号 —

自民党衆議院静岡県第6選挙区支部

〒410-0062 沼津市宮前町 1 3 - 3

電話：055 (922) 5526 FAX：055 (922) 5527

ブログ：<http://ameblo.jp/t-katsumata>

公式サイト：<http://www.t-katsumata.com>

eメール：jimin@t-katsumata.com

静岡6区【沼津・伊東・熱海・下田・伊豆・伊豆の
国（旧韭山・大仁）・賀茂郡・駿東郡（長泉・清水）】

ボランティア大募集（6区支部まで連絡下さい）

まるかつ通信の企画・配布・街頭演説サポート・ポ
スター貼りなどなど、楽しい仲間と共に！

衆議院議員（静岡県第6選挙区支部支部長）

たかあき
かつまた孝明氏

アベノミクスと社会保障『この道を、力強く、前へ』
経済成長の果実で国民負担の軽減を図る！



世代間格差などについて持論を展開した講演会

アベノミクスと社会保障

第四次安倍改造内閣がスタートし「この道を、力強く、前へ」のスローガンの下、経済再生・景気回復を最優先に取り組んでいます。現在、我が国を取り巻く経済環境、財政状況は回復の兆しを見せ始めているものの地方経済は厳しい状況にあります。

少子高齢化、超高齢化、人口減少社会の中で、平成 28 年度一般会計予算 96 兆 7 千億円のうち、約 3 分の 1 を占める社会保障関連費（年金・医療・介護等）が毎年増加している状況で、これをどのようにしてまかなっていくのかが大きな課題となっています。増大していく社会保障関連費をまかなっていくためには、いくつかの方策があります。まずは、消費税の引き上げです。

消費税は、消費活動をするすべての国民の皆さんに負担を強い税金で有り、消費活動に大きく影響を及ぼします。出来れば、税金は上げたくないのが心情です。次に、借金（国債の発行）でまかなうことです。これは現在、国の借金が 1,000 兆円を超えるといわれており、借りたお金は返していく必要があり、次の世代にツケを先送りすることになります。子供たちの財布に手を突っ込むようなことはしたくないのが心情です。



安倍内閣の成長戦略の一つに大型クルーザーによる外国からの観光客誘致があり、伊豆半島周辺の港湾整備に積極的に取り組んでいます

地方再生のための『地方創生』でなければいけない！

消費税の引き上げも、借金を増やすこともできればしたくない！そこで、私たち自由民主党が『この道を、力強く、前へ』のスローガンのもと進めてきた経済再生・景気回復こそが、国民の負担を軽減していく方策なのです。企業の競争力を強化し、中小企業の足腰を強め、成長を力強く推し進めていくことで、収益力を高め、その果実を社会保障費に再分配していくことです。

例えば、自動車産業を代表するトヨタ自動車は平成28年度3月期決算で当期利益2兆3千億円を超えました。しかしながら、地域経済を支える自動車関連の中小部品会社などには、まだその果実が届いてきていないのが現状です。今、必要なことは、地方経済を支える中小企業の支援です。そのために、競争力強化のための税制優遇、医療・介護分野など成長産業への集中した投資拡大策を図っていきます。

また、一方で行財政改革による財政健全化、さらには予防医療等の推進による健康寿命の向上による医療・介護費の維持抑制は両輪で行っていかねばならないと考えています。



狩野川堰堤の改修要望を受け、次期東京五輪・パラリンピック後の伊豆半島サイクリングロード構想などを踏まえ地元の声を取り纏める